

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	- (-)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	朝日村 (20451)
地域名 (地域内農業集落名)	かたくり地区 (新田)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	3.20 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	3.20 ha
② 田の面積	1.26 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	1.94 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	0.63 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0.63 ha
(備考)面積は基盤整備換地後仮面積で算出	

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・かたくり地区は令和5年に、ほ場整備事業が完了し、80代2名、70代1名、60代3名、50代1名、40代1名、30代2名が耕作している。
- ・かたくり地区では、水稻、スイートコーン、サニーレタス等が栽培されている。
- ・ほ場整備後のほ場は排水性が悪く、大きい石がゴロゴロしていることから、麦やヘアリーベッチなど根張りのよい緑肥作物を作付けたり、石を拾うことで、物理性及び作業性の改善を図っているところである。
- ・スイートコーンでハクビシンによる被害があった。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・ほ場整備事業により区画が整備されたため、農作業の効率化を進める。
- ・水田の畑地化が図られた箇所は、スイートコーン、キャベツ等の生産が期待されるが、排水性、作業性に難があり、土壌改良を試みている段階である。客土を入れたほ場では、あと2、3年かけて、堆肥を入れ、土づくりを継続していく必要がある。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
ほ場整備事業に伴い、農地の集約化が図られた。農用地は現耕作者やその後継者が引き続き耕作し、空いた農地については、規模拡大を希望する担い手へ集積を進めていく。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	100	%	将来の目標とする集積率
			100 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
現状維持とする。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
ほ場整備により農用地の集積、集約化が図られたため現状を維持する。
(2)農地中間管理機構の活用方法
所有者と現耕作者の貸付意向時期に配慮し、耕作ができなくなった場合は担い手に集約する。
(3)基盤整備事業への取組
基盤整備は完了したが、さらに耕作しやすいように必要に応じ改良していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
継続して村及びJAと連携して取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
耕作者が管理していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

⑨その他(土壌の改良)排水性が悪いが、作土層が約20cmと浅いためサブソイラーやプラウを入れることができない。また、ロータリーも深く掛けようとすると刃が欠けてしまうことから、深く根を張るソルゴーなどを作付けして排水性の改善を図る。農地中間管理機構を通じた貸借における賃借料については原則として金納とされているが、農地所有者の事情等により、地域の農地利用調整の合意形成において物納が必要とされた場合は、金納に代わり物納(ただし、米に限る)の取扱いができるものとする。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者	A	水稲	0.03 ha	- ha	水稲	0.03 ha	- ha	①	
利用者	B	水稲	0.12 ha	- ha	水稲	0.12 ha	- ha	②	
利用者	C	水稲、野菜	0.25 ha	- ha	水稲、野菜	0.25 ha	- ha	③	
利用者	D	水稲	0.17 ha	- ha	水稲	0.17 ha	- ha	④	
利用者	E	水稲	0.35 ha	- ha	水稲	0.35 ha	- ha	⑤	
認農	F	水稲	0.35 ha	- ha	水稲	0.35 ha	- ha	⑥	
認農	G	野菜	0.40 ha	- ha	野菜	0.40 ha	- ha	⑦	
認農	H	野菜	0.53 ha	- ha	野菜	0.53 ha	- ha	⑧	
認就	I	野菜	0.53 ha	- ha	野菜	0.53 ha	- ha	⑨	
認就	J	野菜	0.48 ha	- ha	野菜	0.48 ha	- ha	⑩	
計	10経営体		3.20 ha	0 ha		3.20 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業者名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
-	-	-	-

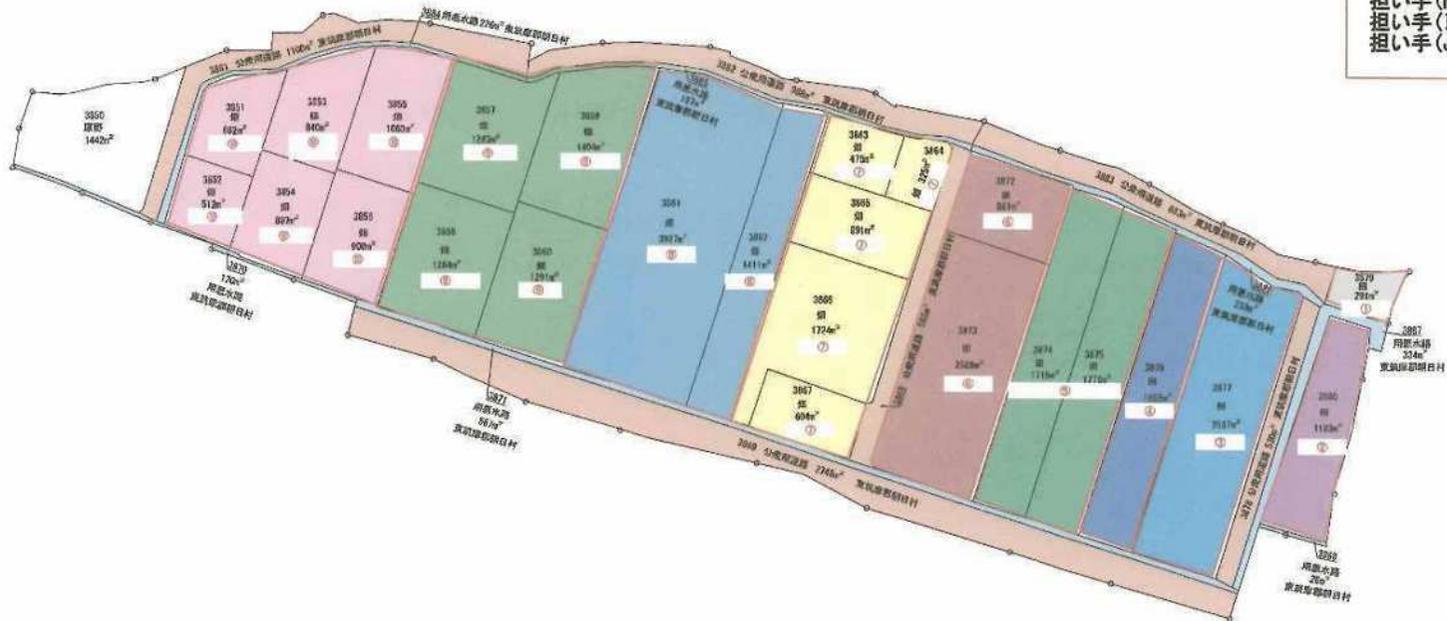
6 目標地図(別添のとおり)



S=1:500

かたくり地区目標地図

- 担い手(A) : ①
- 担い手(B) : ②
- 担い手(C) : ③
- 担い手(D) : ④
- 担い手(E) : ⑤
- 担い手(F) : ⑥
- 担い手(G) : ⑦
- 担い手(H) : ⑧
- 担い手(I) : ⑨
- 担い手(J) : ⑩



凡 例	
	担い手(A)
	担い手(B)
	担い手(C)
	担い手(D)
	担い手(E)
	担い手(F)
	担い手(G)
	担い手(H)
	担い手(I)
	担い手(J)

説 明	
	担い手(A)
	担い手(B)
	担い手(C)
	担い手(D)
	担い手(E)
	担い手(F)
	担い手(G)
	担い手(H)
	担い手(I)
	担い手(J)

作成者 国土院 国土院 国土院